

歯学会第1回例会, 新潟市, 2008年7月19日.

- 19) 児玉泰光, 小林孝憲, 瀬尾憲司, 林 孝文, 小山貴寛, 村山正晃, 庭野将広, 勝見祐二, 田中 礼, 朔 敬, 高木律男: 顎関節置換術後に生じ診断に苦慮した顎関節部難治性疼痛の1例. 第13回口腔顔面神経機能学会, 神戸市, 2009年2月28日.

【研究会発表】

- 1) 平 周三, 林 孝文, 新国 農, 西山秀昌, 澤浦恵子, 星名秀行, 新垣 晋, 金子耕司, 小山 諭, 畠山勝義: 口腔癌の頸部リンパ節転移診断へのエラストグラフィおよび歪み比 Strain Ratio の臨床応用. 第58回新潟画像医学研究会, 新潟市, 2008年6月28日.

摂食・嚥下リハビリテーション学分野

【著 書】

- 1) 井上 誠: 基礎編3章 摂食・嚥下のメカニズム②, 4章 摂食・嚥下を支える機能①, ④, ⑤, ⑥. 歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学 (向井美恵, 山田好秋編), 21-27, 28, 33-37頁, 医歯薬出版, 東京, 2008.
- 2) 伊藤加代子: 基礎編4章 摂食・嚥下を支える機能②, ③. 歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学 (向井美恵, 山田好秋編), 28-33頁, 医歯薬出版, 東京, 2008.
- 3) 大瀧祥子: 付: 障害への対処例 2. 神経疾患による摂食・嚥下障害者への対処例. 歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学 (向井美恵, 山田好秋編), 192-196頁, 医歯薬出版, 東京, 2008.
- 4) 伊藤加代子: 妊娠期の快適性を追及する支援 歯科. 周産期看護学アップデート (吉沢豊予子編), 77-79頁, 中央法規出版, 東京, 2008.
- 5) 井上 誠: 筋電図や嚥下造影検査を用いた嚥下運動の記録法. 顎運動および筋電図検査法 (顎機能学会編), 80-87頁, 八木出版, 2008.
- 6) 井上 誠: 1) 口腔とは (4) においの感覚総論. 口腔からみた全身との関わり (鴨井久一編), 86-88頁, 医歯薬出版, 東京, 2009.

【論 文】

- 1) Taniguchi H, Tsukada T, Ootaki S, Yamada Y, Inoue M: Correspondence between food consistency and suprahyoid muscle activity, tongue pressure, and bolus transit times during the oropharyngeal phase of swallowing. *J Appl Physiol* 105(3): 791-799, 2008.
- 2) Hiroto T, Yoshihara A, Ogawa H, Ito K, Igarashi A, Miyazaki H: Salivary spinability and periodontal disease progression in an elderly population. *Arch Oral Biol* 53: 1071-1076, 2008.
- 3) Tsukada T, Taniguchi H, Ootaki S, Yamada Y, Inoue M: Effects of food texture and head posture on oropharyngeal swallowing. *J Appl Physiol* 106(6): 1848-1857, 2009.
- 4) Hitomi Y, Suzuki A, Kawano Y, Nozawa-Inoue K, Inoue M, Maeda T: Immunohistochemical detection on ENaC β in the terminal Schwann cells associated with the periodontal Ruffini endings of the rat incisor. *Biomed Res*, 2009 (in press).
- 5) 谷口裕重, 大瀧祥子, 梶井友佳, 山田好秋, 井上 誠: 筋萎縮性側索硬化症例における舌萎縮と嚥下時の食塊移送との関係. *顎機能誌* 15: 30-37, 2008.
- 6) 船山さおり, 伊藤加代子, 濃野 要, 人見康正, 宮崎秀夫, 井上 誠, 五十嵐敦子: ワッテ法と吐唾法による唾液分泌量の比較. *新潟歯学会誌* 38 (2): 37-43, 2008.
- 7) 金子正幸, 葭原明弘, 伊藤加代子, 高野尚子, 藤山友紀, 宮崎秀夫: 地域在住高齢者に対する口腔機能向上事業の有効性. *口腔衛生会誌* 59 (1): 26-33, 2009.

【商業誌】

- 1) 井上 誠: 誤嚥事故を防止する方策について教えてください. *腎と透析* 64 (5): 793-795, 2008.
- 2) 伊藤加代子, 井上 誠: ドライマウスと味覚障害. *8020* (7): 66-69, 2008.
- 3) 伊藤加代子: 歯科領域と更年期女性 口腔に現れる症状, ご存知ですか? 更年期と加齢のヘルスケア 7 (1):

149-153, 2008.

- 4) 井上 誠：高齢者食品に求められる安全性. ニューフードインダストリー 51 (1), 18-26, 2009.

【研究費獲得】

- 1) 井上 誠 (研究代表者):高齢者施設入所者を対象とした新しいタイプの舌ブラシの使用効果. 共同研究 (四季園), 2008.
- 2) 井上 誠 (研究代表者):平成 20 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (C), 20592170, 2008 (継続).
- 3) 伊藤加代子 (研究代表者):平成 20 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 若手 (B), 20791637, 2008 (継続).
- 4) 井上 誠 (研究代表者):捕食・咀嚼・嚥下運動時に引き起こされる顎舌反射の変調. 平成 20 年度新潟大学プロジェクト推進経費 (奨励研究), 2008.
- 5) 井上 誠 (研究分担者):食の高付加価値化に資する基盤技術の開発. JST 地域結集型研究開発プログラム, 2008 (継続).
- 6) 井上 誠 (研究代表者):餅様食品の咀嚼・嚥下特性の解明と嚥下障害予防等の高齢者食品に関する実現可能性の検討. JST シーズ顕在化ステージ, 2008 (継続).

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Inoue M: Physiological evaluation of swallowing function. US-Japanese Symposium, Network for International Education and Research in Advanced Dental Sciences, Niigata, 2009.2.13.
- 2) 井上 誠:摂食・嚥下機能の画像ならびに筋電図学的評価. 第 19 回日本病態生理学会, 埼玉, 2009 年 1 月 24 日.
- 3) 井上 誠:摂食・嚥下リハビリテーション—中途障害—. 第 12 回新潟栄養・食生活学会, 新潟, 2008 年 11 月 29 日.
- 4) 井上 誠:摂食・嚥下障害の中途障害に対する臨床的アプローチ. 第 21 回日本歯科医学会総会, 神奈川, 2008 年 11 月 16 日.
- 5) 井上 誠:口腔内の咀嚼・嚥下メカニズムの画像解析. IFIA (第 14 回国際食品素材/添加物展・会議), 東京, 2008 年 5 月 22 日.

【学会発表】

- 1) Katsura K, Saito M, Ito K, Igarashi A, Hayashi T: The pulse Doppler findings of hyposalivation- relation to the number of drugs -. The 7th Asian Congress of Oral and Maxillo-Facial Radiology, Japan, 2008.11.20-22.
- 2) Matsuki T, Ito K: Gender Differences in Oral Health, Based on the Survey of Dental Diseases 2005 in Japan. The 3rd World Congress on Gender Specific Medicine, Sweden, 2008.9.12-4.
- 3) Inoue M, Taniguchi H, Tsukada T, Yamada, Y: Effects of Food Consistency and Head Posture on Oropharyngeal Swallowing. 86th IADR, Canada, 2008.7.2-5.
- 4) 伊藤加代子, 福原孝子, 高地いづみ, 井上 誠:舌ブラシの形態による清掃効果の違いについて. 第 5 回日本口腔ケア学会, 沖縄, 2008 年 11 月 15-6 日. 日本口腔ケア学会雑誌 3 (1): 80 頁, 2009.
- 5) 人見康正, 鈴木晶子, 井上 誠, 前田健康:歯根膜ルフィニ神経終末における ENaC β の発現. 平成 20 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2008 年 11 月 8 日, 新潟歯学会誌 38 (2): 135 頁, 2008.
- 6) 船山さおり, 伊藤加代子, 濃野 要, 人見康正, 宮崎秀夫, 五十嵐敦子:高齢者における精神健康度と口腔乾燥に関する検討. 平成 20 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2008 年 11 月 8 日, 新潟歯学会誌 38 (2): 144 頁, 2008.
- 7) 山岸直也, 川田充洋, 林 豊彦, 中村康雄, 中嶋新一, 井上 誠:自律顎運動シミュレータ JSN/3A における食片性状に応じた噛みわけ. 第 29 回バイオメカニズム学術講演会, 広島, 2008 年 10 月 25-6 日.
- 8) 高地いづみ, 山野井澄江, 別府 茂, 秋元幸平, 田辺英児, 井上 誠, 山田好秋:高齢者や障害者に向けに開設された「食の支援ステーション」. 第 14 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 千葉, 2008 年 9 月 13-4 日, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌 12 (3): 280 頁, 2008.
- 9) 塩沢恵美, 谷口裕重, 福原孝子, 林 宏和, 別府 茂, 星 正弘, 井上 誠:新たな嚥下訓練用ゼリーは時代の寵児となるか. 第 14 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 千葉, 2008 年 9 月 13-4 日, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌 12 (3): 317 頁, 2008.

- 10) 福原孝子, 大瀧祥子, 谷口裕重, 梶井友佳, 山田好秋, 井上 誠: 当院摂食・嚥下機能回復部における臨床検討. 第14回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 千葉, 2008年9月13-4日, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌 12(3):349頁, 2008.
- 11) 谷口裕重, 大瀧祥子, 福原孝子, 井上 誠: 当院摂食・嚥下機能回復部における臨床検討—頭頸部腫瘍術後症例についての検討—. 第14回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 千葉, 2008年9月13-4日, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌 12(3):361頁, 2008.
- 12) 安達大雅, 谷口裕重, 梶井友佳, 井上 誠: 咳嗽嚥下の臨床応用への可能性. 第14回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 千葉, 2008年9月13-4日, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌 12(3):366頁, 2008.
- 13) 宮沢玲子, 永島尚子, 岡田ゆきえ, 谷 和美, 深沢尚子, 涌井あゆ美, 井上 誠: 術後の嚥下障害に対して摂食・嚥下専門医の往診及び院内スタッフの嚥下訓練により経口摂取可能となった1例. 第14回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 千葉, 2008年9月13-4日, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌 12(3):443頁, 2008.
- 14) 梶井友佳, 福原孝子, 兼岡麻子, 木村慎二, 河内 泉, 大瀧祥子, 井上 誠: 嚥下障害を伴う Wegener 肉芽腫症の一症例. 第14回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 千葉, 2008年9月13-4日, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌 12(3):443頁, 2008.
- 15) 柴田佐都子, 大瀧祥子, 井上 誠, 山田好秋: 多系統萎縮症(MSA)における口腔機能障害の特徴. 第14回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 千葉, 2008年9月13-4日, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌 12(3):446頁, 2008.
- 16) 大瀧祥子, 谷口裕重, 井上 誠, 山田好秋, 小澤鉄太朗, 下畑亭良, 西澤正豊: 当院を受診した多系統萎縮症患者の摂食・嚥下機能障害の特徴. 第14回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 千葉, 2008年9月13-4日, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌 12(3):446頁, 2008.
- 17) 中尾敦子, 福原孝子, 谷口裕重, 大瀧祥子, 井上 誠: 当院摂食・嚥下機能回復部における臨床検討—反回神経麻痺を伴う嚥下障害の予後—. 第14回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 千葉, 2008年9月13-4日, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌 12(3):461頁, 2008.
- 18) 船山さおり, 伊藤加代子, 人見康正, 五十嵐敦子, 井上 誠: ワッテ法を用いた唾液分泌量測定に関する検討. 第14回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 千葉, 2008年9月13-4日, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌 12(3):465頁, 2008.
- 19) 金子正幸, 葭原明弘, 伊藤加代子, 高野尚子, 藤山友紀, 宮崎秀夫: 高齢者の摂食・嚥下機能に対する口腔機能向上事業の有効性. 第19回日本口腔衛生学会甲信越北陸地方会, 新潟, 2008年8月2日, 口腔衛生会誌 59(1):58頁, 2009.
- 20) 島田久寛, 井上 誠: 食塊の物性と嚥下閾値との関係. 平成20年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2008年7月19日, 新潟歯学会誌 38(2):134頁, 2008.
- 21) 柴田佐都子, 大瀧祥子, 井上 誠, 山田好秋: 食塊の物性と嚥下閾値との関係. 平成20年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2008年7月19日, 新潟歯学会誌 38(2):135頁, 2008.
- 22) 福原孝子, 大瀧祥子, 谷口裕重, 梶井友佳, 山田好秋, 井上 誠: 新潟大学医歯学総合病院 摂食・嚥下機能回復部における2年間の臨床検討. 平成20年度新潟歯学会総会, 新潟, 2008年4月26日, 新潟歯学会誌 38(1):48頁, 2008.
- 23) 田巻元子, 伊藤加代子, 安達大雅, 福原孝子, 谷口裕重, 船山さおり, 梶井友佳, 大瀧祥子, 井上 誠: 特別養護老人ホーム訪問活動に関するアンケート調査. 平成20年度新潟歯学会総会, 新潟, 2008年4月26日, 新潟歯学会誌 38(1):71頁, 2008.

【研究会発表】

- 1) 井上 誠: 嚥下障害とリハビリテーション. 竹田総合病院研修会, 福島, 2009年3月21日.
- 2) 伊藤加代子: 口腔機能訓練～食べるための環境作り～. 新潟県福祉栄養士協議会第2回研修会, 新潟, 2009年2月15日.
- 3) 井上 誠: 今後への期待. 新潟大学地域連携第11回FSCシリーズ講演会「食べる」を計る, 新潟, 2009年2月14日.

- 4) 伊藤加代子: 口腔機能測定器「健口くん」によるオーラルディアドコキネシス測定. フードサイエンスセンター シリーズ講演会「食べる」を計る, 新潟, 2009年2月14日.
- 5) 伊藤加代子: 楽しい毎日, おいしい食事をサポートするために. 新潟県歯科技工士会・歯科衛生士会合同研修会, 新潟, 2009年1月18日.
- 6) 伊藤加代子: 要介護者のお口の健康のために. 下越地区口腔ケア研修会, 五泉, 2008年12月11日.
- 7) 伊藤加代子: 口腔機能訓練で健やかお口. 介護予防従事者研修会, 新潟, 長岡, 上越, 2008年12月9, 18, 24日.
- 8) 井上 誠: 嚥下機能に関わる舌運動の定量的評価. 口腔から QOL 向上を目指す連携研究シンポジウム, 徳島, 2008年11月25-7日.
- 9) 梶井友佳: 一生おいしく食べるために一虫歯の原因と歯科治療. 長岡市立養護学校学校保健委員会講演会, 長岡, 2008年11月18日.
- 10) 伊藤加代子: 豊かな毎日を過ごすために～性差を加味したアドバイス～. 福岡県地域保健関係職員等歯科保健研修会, 福岡, 2008年10月31日.
- 11) 井上 誠: 摂食・嚥下リハビリテーションにとっての口腔機能の役割. 第29回 新潟労災病院 合同研修会, 上越, 2008年10月17日.
- 12) 福原孝子: おいしい食事を楽しむために. 新潟市歯科医師会 口腔ケア実地研修事業, 新潟, 2008年10月3日.
- 13) 伊藤加代子: おいしい食事を楽しむために. せきやおもと園研修会, 新潟, 2008年10月2, 10日.
- 14) 井上 誠: 摂食嚥下リハビリテーションにおける歯科の役割と可能性. 新潟県歯科医師会摂食嚥下研修会, 新潟, 2008年10月2日.
- 15) 伊藤加代子: 舌ブラシの研究. 黒埼の里研修会, 新潟, 2008年9月29日.
- 16) 井上 誠: 今日から始める摂食・嚥下リハビリテーション. 済生会新潟第2病院 NST 講演会, 新潟, 2008年9月19日.
- 17) 井上 誠: 摂食・嚥下リハビリテーションと口腔ケア. 第1回 Regional Relationship Conference, 三条, 2008年8月6日.
- 18) 井上 誠: 摂食・嚥下リハビリテーションの実践と評価. 国立病院機構新潟病院勉強会, 柏崎, 2008年7月11日.
- 19) 井上 誠: 在宅診療・高齢者の心身の特性を踏まえた口腔機能の向上および管理. 「医療安全」及び「施設基準」に関わる研修会, 新潟, 2008年6月15日.
- 20) 井上 誠: 摂食・嚥下リハビリテーションの実践と評価. 西新潟病院摂食機能向上プロジェクト, 新潟, 2008年5月30日.
- 21) 伊藤加代子: 口腔乾燥について. 高齢者健康セミナー, 新潟, 2008年4月20日.

【その他】

- 1) 井上 誠: プロフェッショナル. 新潟放送, 2009年2月5日.
- 2) 井上 誠: いつまでもおいしく食べたい. オアシス 21, 61: 14-15 頁, 2009.
- 3) 井上 誠: 万物流転. 新潟大学歯学部同窓会誌 29: 3-5 頁, 2009.
- 4) 井上 誠: 地域をささえる (595). 厚生福祉 2008年10月24日, 時事通信社, 2008.
- 5) 伊藤加代子: 介護予防のための口腔機能の向上入門講座. 新潟大学歯学部公開講座, 新潟, 2008年7月15日.
- 6) 伊藤加代子: カウンセリング勉強会. Ns 勉強会, 新潟, 2008年7月9日, 11月13日, 2009年1月14日.
- 7) 井上 誠: 摂食・嚥下障害患者への臨床的アプローチと食品との関わり. FOOMA JAPAN (2008 国際食品工業展), 東京, 2008年5月27-30日.
- 8) 井上 誠: 漁師だけが知っていた! シラス驚異の美味料理. 日本放送協会 ためしてガッテン, 2008年5月7日.
- 9) 井上 誠, 秋元幸平, 別府 茂, 田辺英児, 山野井澄江: 食の支援ステーション開設. 歯学部ニュース 平成20年度第1号: 14-22 頁, 2008.
- 10) 井上 誠: 今日までそして明日から. 歯学部ニュース 平成20年度第1号: 38-39 頁, 2008.

歯科侵襲管理学分野

【論文】

- 1) Megumi Aita, Takeyasu Maeda, Kenji Seo, The effect of neonatal capsaicin treatment on the CGRP-immunoreaction in the trigeminal subnucleus caudalis of mice, Biomedical Research (2008) 29, 33-42.